

大鹿村『水循環・資源循環のみち2015』構想

平成27年度策定

大鹿村は下伊那郡の北東部に位置し、東には南アルプス3,000メートル級の山々がそびえ立ち、西は伊那山脈に隔てられた自然環境が豊かな村です。

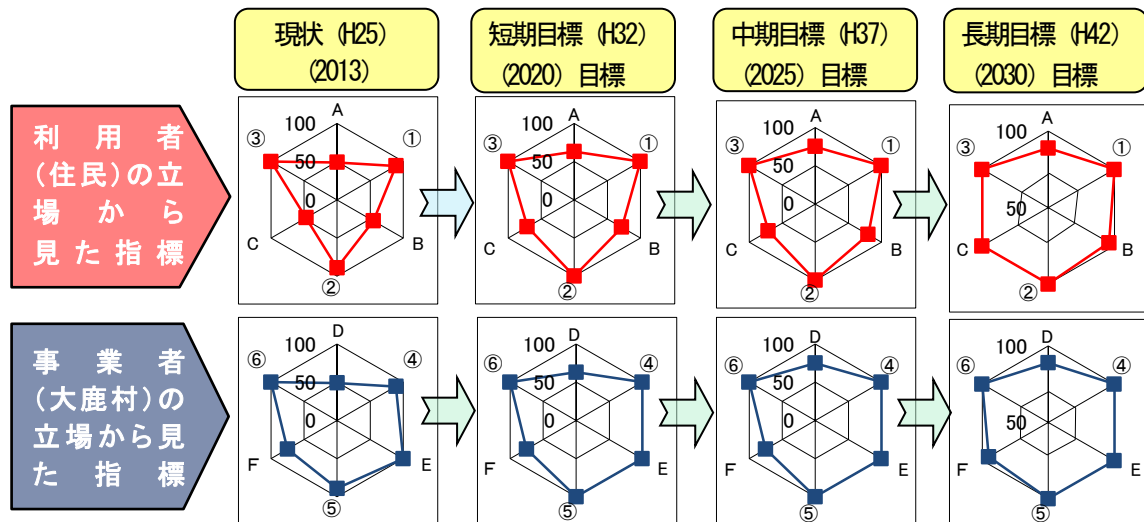
この自然環境や水環境を後生に残すため、平成5年から生活排水対策として合併処理浄化槽設置整備事業を進めてきましたが、人口減少や高齢化の進展など社会情勢の変化への対応が求められています。

また、生活排水施設は、機能の維持や利用者である住民の皆様の利便性や快適性を持続していくため、今後とも浄化槽設置の補助のほか、設置後の維持管理の経費にも補助を行い化槽の普及を図る必要があります。

このため、50年先を見据えた計画に基づき、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、20年後までの生活排水対策の構想である「大鹿村水循環・資源循環のみち2010」を策定し、平成27年度に見直しを行いました。

大鹿村の指標と目標

大鹿村では、構想の目標年度である15年後までに向けて、利用者（住民）の立場から見た指標と事業者から見た指標として、県下の統一指標のほか、当村の現状を把握した上で、オリジナル指標を設定し、短期、中期、長期の目標を以下のとおり設定しました。



■利用者（住民）の立場から見た指標

(1) 暮らしの快適さを表す評価項目

A快適生活率(%)：48.6→62.9→74.9→88.8 【県下統一指標】

①浄化槽台帳の整備率(%)：89.0→100.0→100.0→100.0

※浄化槽の加入状況を把握するため浄化槽台帳の電子化を進めます。

(2) 環境への配慮を表す評価項目

B環境改善指数：55.0→72.0→80.0→96.0 【県下統一指標】

②法定検査受検率(%)：89.0→100.0→100.0→100.0

※各家庭の浄化槽の適正な維持管理のため、法定検査（浄化槽法第11条）の受検を進めます。

(3) 住民参画への取組を表す評価項目

C情報公開実施指数：47.6→71.4→71.4→100.0 【県下統一指標】

③環境学習率(%)：100→100→100→100

※小学生を対象に水辺の環境学習を進めます。

■事業者（市町村）の立場から見た指標

(1) 整備事業の達成度を表す評価項目

D 汚水処理人口普及率(%)：48.6→62.9→74.9→88.8 【県下統一指標】

④ 浄化槽台帳の整備率(%)：89.0→100.0→100.0→100.0

※浄化槽の加入状況を把握するため浄化槽台帳の電子化を進めます。

(2) 資源循環への貢献を表す評価項目

E 1 木材利活用率(%)：100.0→100.0→100.0→100.0 【県下統一指標】

⑤ 法定検査受検率(%)：89.0→100.0→100.0→100.0

※各家庭の浄化槽の適正な維持管理のため、法定検査（浄化槽法第11条）の受検を進めます。

(3) 経営の長期的な状況を表す評価項目

F 経営健全指数（浄化槽維持管理指数）：75.0→75.0→75.0→95.0 【県下統一指標】

⑥ 環境学習率(%)：100→100→100→100

※小学生を対象に水辺の環境学習を進めます。

住民参画への取組

浄化槽の設置について村の補助を受けた方には、設置完了検査のときに代行管理者、施工業者、管理者の立会いを求め、適正な管理をお願いしてきましたが、今後も取組を継続してまいります。



大鹿村『生活排水エリアマップ2015』

平成27年度策定

大鹿村の生活排水は、平成5年度から合併処理浄化槽設置整備事業を導入し整備を行ってきました。途中の平成8年度から9年度にかけて農業集落排水事業の検討も行われましたが、大鹿村の人口、地形、高齢化等を考慮し生活排水対策は浄化槽で行う方針となりました。

生活排水エリアマップ2015では、今後も浄化槽整備を進めることにより、普及率促進を図ることとしています。

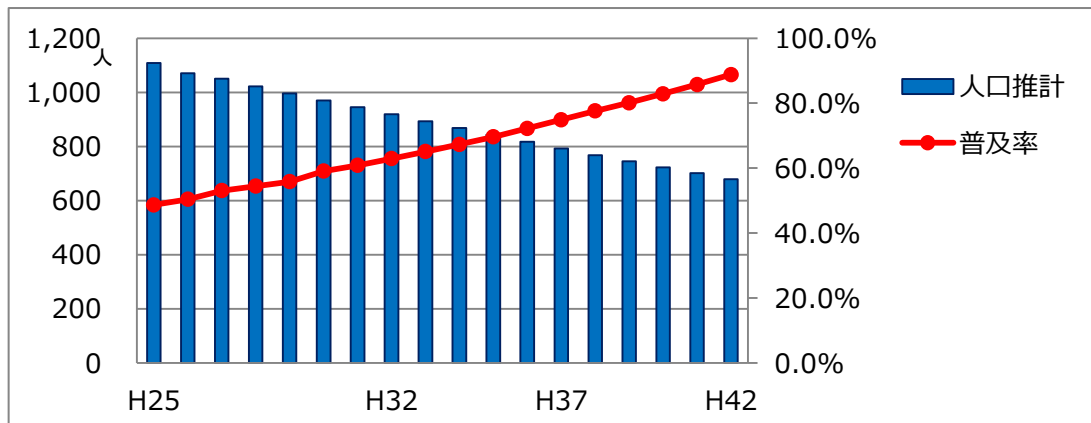
生活排水エリアマップ2015（概要図）



「生活排水エリアマップ2015」
村内全域が浄化槽整備区域

浄化槽整備率の目標
(汚水処理人口普及率)
現状H25=48.6%
H32=62.9%
H37=74.9%
H42=88.8%

人口の推計と普及率の推移



アクションプランへの取組

■浄化槽整備に関する取組

- ・浄化槽推進のため浄化槽設置補助をしています。

補助金額	5人槽	529,000円
	7人槽	744,000円
	10人槽	824,000円

また、附帯施設の事業費の80%以内、限度額150,000円の上乗せ補助があります。

- ・浄化槽の維持管理費の補助として1浄化槽当たり年額20,000円の助成をしています。
- ・高齢者世帯や空き家の増加などにより推進できにくい状況ではありますが、年間4基程度の補助により普及率を上げていきたいと思えます。

地震対策への取組

- ・浄化槽台帳の整備を進め、設置箇所等の把握を行い、被災時に対応ができるようにします。
- ・地震が発生した場合の浄化槽施設の機能保全対策は設置者各自でお願いしますが、設置者と保守点検業者との維持管理契約により速やかな復旧を目指します。
- ・浄化槽が機能していないところは、近隣で機能している浄化槽を借用したりしていただくこととしています。なお、山間部や隣近所と離れているところなどは簡易式のトイレの設置を検討します。



大鹿村『バイオマス利活用プラン2015』

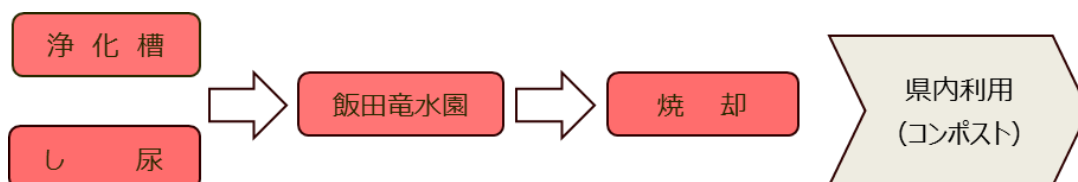
平成27年度策定

大鹿村の浄化槽やトイレから発生する汚泥（バイオマス）は、南信州広域連合 飯田竜水園で、飯田市、松川町、高森町、喬木村、豊丘村の6市町村が共同で処理を行っています。

その処理方法は汚泥を乾燥させ焼却した後に県内で堆肥及び消臭材として利用しています。今後もバイオマスの利活用の観点からの引き続き活用してまいります。

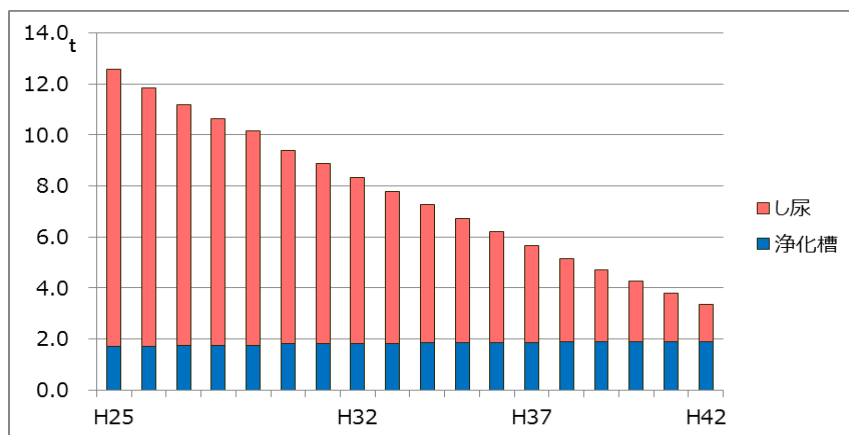
大鹿村におけるバイオマス利活用プラン

■現状



- ・浄化槽汚泥とし尿は、南信州広域連合 飯田竜水園へ搬入され乾燥を行い、民間事業者により焼却した後に県内で肥料及び消臭材として利用しています。

「大鹿村」バイオマス発生量予測



- し尿汚泥は浄化槽設置整備事業により浄化槽が増加することにより減少します。

大鹿村の広域的なバイオマス利活用プラン

■南信州広域連合 飯田竜水園

飯田市、松川町、高森町、喬木村、豊丘村の6市町村が共同で処理をしています。
(平成23年度に施設の改修済み)

- 【短期】 脱水汚泥を民間事業者により焼却後に県内で肥料及び消臭材として利用します。
- 【中期】 脱水汚泥を民間事業者により焼却後に県内で肥料及び消臭材として利用します。
- 【長期】 脱水汚泥を民間事業者により焼却後に県内で肥料及び消臭材として利用します。

大鹿村『経営プラン2015』

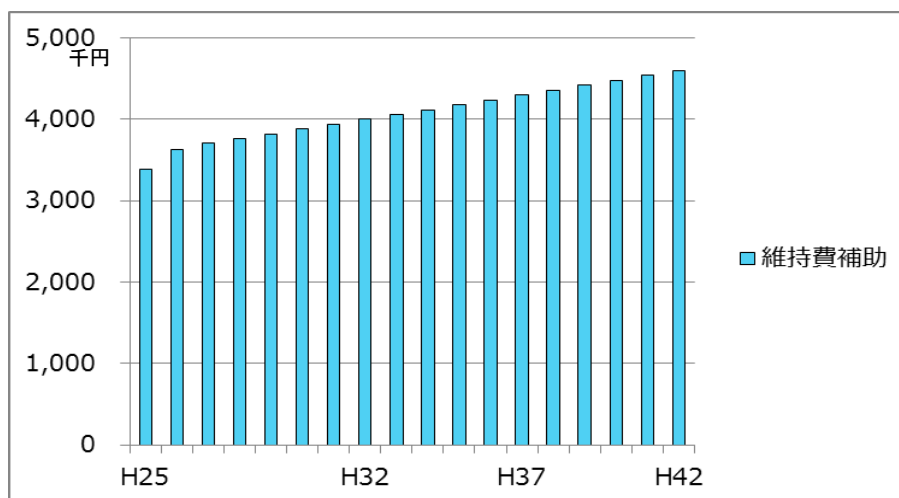
平成27年度策定

大鹿村では、平成5年度に浄化槽設置整備事業が開始し、村内全域が対象区域となっています。
 今後も浄化槽整備を進めますが、村民の皆様が安心して浄化槽を利用していただけるような取組を検討し、「経営プラン2015」を策定しました。

大鹿村における生活排水の経営計画

- 浄化槽の適正管理のため維持管理交付金を設置者に対して毎年20,000円交付し、法定検査の100%受検を目指します。
- 浄化槽の設置補助金については、年間4基程度を計画していきます。

維持管理費交付金の推移予測



現状把握と検証

大鹿村「水循環・資源循環のみち2010」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と検証を行いました。その結果を基に今回見直しを行いました。

指標	現状把握 (平成25年度末現在)		検証結果	見直し方針
	計画	実績		
A:快適生活率(%)	57.4	48.6	A指標は、独居老人の増加により浄化槽加入者が増えず、目標の57.4%に達していません。	A指標は、平成42年の目標100%から88%に変更し、目標達成するように、浄化槽の加入促進を行います。
①:選択指標	—	—	—	—
B:環境改善指数	47	55	B指標は、目標どおり進んでいます。	B指標は、当初目標どおりに進めます。
②:選択指標	—	—	—	—
C:情報公開実施指数	85.7	47.6	C指標は、住民ニーズの調査ができなかったため、目標の85.7に達していません。	C指標は、当初目標どおりに進めます。
③:選択指標	—	—	—	—
D:汚水処理人口普及率(%)	60.1	48.6	D指標は、独居老人の増加により浄化槽加入者が増えず、目標の60.1%に達していません。	D指標は、平成42年の目標100%から88%に変更し、目標達成するように、浄化槽の加入促進を行います。
④:選択指標	—	—	—	—
E:バイオマス利活用指数	50	100	E指標は、目標を上回っており、汚泥の肥料としての有効利用が進んでいます。	E指標は、当初目標どおりに進めます。
⑤:選択指標	—	—	—	—
F:経営健全度(浄化槽維持管理指標)	40	75	F指標は、目標どおり進んでいます。	F指標は、平成42年の目標100から95に変更します。
⑥:選択指標	—	—	—	—